

## 今月の BEST SHOT

毎日の学校生活の中から、BESTな場面を収めた写真をご紹介します！



### 燃えた体育祭！！

今回は年に一度のお楽しみ！！体育祭の様子をカシャ！

普段は静かな学習環境を大切にしている暁星ですが、この時ばかりは、みんな楽しんじゃいます！！保護者競技もあってこの日は大盛り上がりです。

# Welcome to KYOTO GYOSEI



## 今月の RECOMMEND

京都暁星高等学校

学校説明会2024

11月10日（日）

9:30～11:30

### ★在校生スピーチ

- ① 部・サークル・キャンパ
- ② 能登ボランティア報告

### ★教員スピーチ

暁星の個別指導

- ★ 3類系紹介
- 進学・福祉・情報

### ★入試情報あり！

入試過去問  
配布します！

※詳しくはホームページをご覧ください！

2024 京都暁星高等学校

お問い合わせ：0772-22-2560

e-mail：info@kghs.ed.jp



公式 WEBSITE

公式 Instagram



KYOTOGYOSEI\_OFFICIAL

学校の様子を定期的に更新しています！！

日々の学校生活や入試情報をたくさん更新中！



✓ 能登半島復興支援ボランティア報告

✓ 今月の BEST SHOT「燃えた体育祭！」

✓ 11/10(日)学校説明会案内

Vol.

05

2024

Oct

参加しようと思った理由は？

生徒10名、教員7名の計17名で、能登へ2泊3日のボランティアに行ってきました

I：先生に声かけられたことがきっかけですが、自分の視野を広げたいと思いました。

S：私もです。もともと気にはなっていたけど、自分から申し込む勇気はなかった時に先生が声をかけてくれました。ボランティアをしたことないし、どんなことをするのか不安だし、でも現状は知りたいと思って、思い切って参加しました。

M：僕は暁星に入学する前に能登地震が起きて、気になっていました。ボランティアの多い暁星で、秋休みに能登に行く聞いて、参加しようと思いました。

M：今回は保育園の除草作業、サロンでのたこ焼き作り、講話を聴くなどのプログラムを予定していて、僕はたこ焼き作りが楽しみでした。たこ焼きとおしゃべりを通して、辛い思いをされた方を元気づけたいと思って、頑張ってくださいという思いを歌で届けたいと思ってました。

I：私は講話を楽しみにしていました。実際に体験した方のお話を聞くことで、**文章やニュースでは感じられない、人の話し方の温度や、文章に表せない感覚を感じたい**と思っていました。

S：私も講話と視察が楽しみでした。普段と違う場所で聞ける話は感じ方が違うだろうし、震災後の街と言うものを見たことがなかったので、**実際を知りたい気持ちでいっぱい**でした。

1日目

I：能登に着いてすぐ、翌日のたこ焼きサロンのチラシ配りを行いました。仮設住宅に一軒ずつ訪問するのは勇気のいることでした。集会所へのヨガに行って不在だったり、私たちの訪問を喜んでくれる人もいたり・・・

S：でも落ち着いた暮らしができていないところに急に高校生が行ったから急に来られてもって嫌そうな雰囲気の人もいたのは事実です。

M：他には上半身裸でリラックスしたおじいさんだったり、仮設住宅だけど、家にお邪魔するってことなんだと、改めて感じました。

S：次に行った、とき保育園での除草活動は正直役に立ったかどうか・・・

M：雑草がすっかり育って、根っこもしっかりしているし量も多いので、正直大変でした。でも遊具の周りなど手作業で行ったので役に立ったと思います！途中、園児たちに「ありがとう！」「おにいちゃん頑張ってる！」と言われ、やる気が復活してきました！！

I：雑草の状況を見ていると、そこまで手が回っていないことが想像できました。だから短時間でしたが、できることをしました。

M：この日、今回のボランティアをサポートして下さった笠原さんが地元の温泉チケットをくださり、夜はみんなで温泉に行き、除草作業の疲れをしっかりと取りました。でも温泉に向かう最中、**実際に倒れている建物をたくさん間近見ました。被害を目の当たりにした衝撃は大きかったです。**

S：一日の終わりにわちあいをしたのですが、人前で自分の意見をいうのは初めてで緊張しました。でも、みんなの意見を聞くことができて良かったです。それぞれにいろんな考えがあることを知りました。

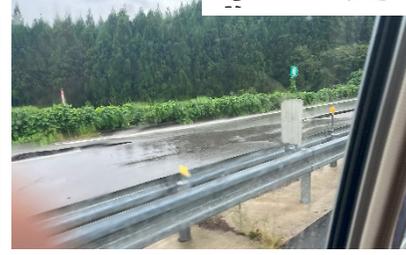
仮設住宅へ一軒ずつ訪問



保育園の除草活動



亀裂の入った道



M：夜は寝袋でしたが、僕はまあまあ眠れました。翌朝9時前からたこ焼きサロンの準備を始めました。思っていたより来場者は多く驚きました。食べてくださった後に、おいしかったと言ってくださったりお持ち帰りする人もいて嬉しかったです。一回目は100食ほど作りました。

2日目

S：それに、たこ焼きを焼いている最中や、お渡しする時に、どこから来たの？とか他愛もない話だったけど笑顔で話せたのが嬉しかったです。一緒に作ってくださる人もいて、石川の方言を聞いたりもしました。

M：その後、みなさんに歌を歌いました。**緊張よりもちょっとでも温かい気持ちがあればいいな**という思いの方が強かったです。感動して下さってました。

S：午後からは2つ目の場所に行ったらたこ焼きサロンを行いました。ここではどのブースのたこ焼き機の周りも大きく盛り上がりしていました。中にはお玉を持参して手伝ってくれた人や、腕相撲をするメンバーもいたりして、**私たちも相手も楽しいと感じていることが伝わってきました。**

I：サロンだけでなく、仮設にも一軒ずつ訪問して、たこ焼きを配達できる旨を伝えたらすごく喜んでくれた人がいて、本当に人とのつながりの大切さを感じました。歌を歌う時もそういう思いがこもっていたのかもしれませんが。感動して泣いてくださる方もいました。その後の防災センターでのお話も忘れられません。責任者の方に当時の様子を詳しく聞かせていただきました。また**復興に向けて多くの方が支援に来てくださり、つながる。それがご縁となって新たな出会いにつながる。そこから広がる出会いが大きな力になった。本当に人とのつながりが貴重なんだと熱く語られていました。**その言葉を聞いて、**今回の私たちのボランティアを表しているように**感じました。

M：暁星の卒業生でボランティアの中心で動いてくださった笠原さんにもお話を伺ったけど、非常用トイレを試しに試してみても！経験しておく慣れるから！と言われて驚きました。避難所では清潔を保つことを忘れがちになってしまうらしいです。また、**支援を受ける方(受援者)の気持ちに寄り添った支援、現状を理解した支援でない温度差ができるというボランティアの大切な視点も**教えていただきました。今回実際に行って、シートに覆われた建物や跡形もない土地は、ニュースで見えていたものとは違いました。**自分ができることは小さいけれど、少しでもいいから役に立ちたいと強く思いました。**

S：ボランティアに参加してみて、最初は知らない人と話すことに躊躇したけど、私が勇気を出してここにきて、こうやってお話できたから、当時のことを知り、考え、想像できているのだと実感しました。そしてこういう**多くの人との出会いが、これからの私の生き方、考え方につながる**こと。**人と出会い、人と関わることで、誰かを救ったり誰かに救われたりするのだと思うことができた体験**でした。

I：私は今回の経験から、**ボランティアとは作業ではなく人とのつながりだ**ということを実感しました。私たちの歌を聞いて涙ぐんでいる人や笑顔の人を見て、とても温かな気持ちになった時、**コミュニケーションとは人と人との相互理解であり、気持ちのつながりを大切に人と関わっていくことだ**と感じました。良い経験になりました

3日目は先日の能登豪雨の日で、川が氾濫し用水路からも水が出て、道路が見えなくなるほどでした。自然の猛威はすさまじく行程を中止し、宮津へ帰りました。被害に遭われた方のために祈ります。

現地に行つて、何かやってあげるつもりだった。でも作業することがボランティアではなかった・・・  
人とつながる。これが、本当のボランティア。



Iさん(2年生)但東中出身

Sさん(1年生)加悦中出身

Mくん(1年生)豊岡南中出身